

増徴廿萬圓を突破す

事變の影響を数字に聴く

平稅務署十二年度調定額

日支事件に因る國幣の増大は本市及び石城郡を管轄區域とする平稅務署の徵稅額にも最も明瞭な反映を呈してゐる。即ち十二年度の徵稅額をみると、酒造稅の六十萬五千六百六十四圓七十六錢、所得稅二十一萬六千七百六十四圓八錢、地租十一萬七千九百九十四圓四十四錢を三なるものと合計すると二百二十四萬八千七百三十三圓七十六錢と云ふ同額開設以來稀有の巨額に上つて居り、前年度より二十一萬五千四百七十六圓、此の割合に二割強の急激な増加率である。而して右は各方面の活況に伴ふ自然増收であるが、事件費の二萬五千五百四十八圓を以て時局關係の増徴法に依るもので、茲にも國稅納稅者の力強い發奮意氣がはつきり取返せる事が出来る。

君島知事視察

鹿島の婦人會總會へ

御茶平遊ばされる三宮宮殿に郡下の農村に明るい話、下り御隨行申し上げる君島知事を投じたものであり郡山車縣知事は殿下の御隨從後九局平出張所では當路から日湯本町から江名への向の距離により来る八日を、熊一江名線鐵道を視察同夜切りとして目下管内各町は小浦鎮水泊り、翌十日は村から來年度の耕作希望を鹿島村鹿島神社を參拜し、日積を授け、早稲の早刈り、午前十時より小學校で開植田、勿來兩町各三十町、午前十時、婦人會總會の耕作申込みあり、菊田方へ鹿島(午後一時懇談會)更に日湯本町突破、見られ、矢田川改修工事場を視察、郡下を合すれば二百町歩に、後同村御代地の光西寺で、なるだらうと云はれてゐる。

一躍七割の高値

駒セリ市場開く

郡下に於ける春駒のセリ、買入も地元の外、遠くはトツブの澤渡村中寺市、茨城、栃木、埼玉、廣島等から押し掛けて大賑ひで、此の相場は、最高六百圓、最低五十圓、平均百三十二圓八錢、出受け、優良馬次、の如し、場二百三十八頭、取引價(社)一永戸村青木農房、格三萬一千四百一十六圓、二三阪村大谷彦助、三周、秋山製菓、(社)一永戸村水野野助、二同業谷一、三三阪村、大平平治、三澤濱村河部、増雄、

經濟の鍵

市役所で懸賞募集、減じた、今五日から八日迄、は今度は上野野村の市場が、平市、所では来る十日から、

國民精神總動員

簡保の報告運動成績

本年は更に擴大方針

逓信省では國民精神總動員十二億圓で昨年三月から六月運動に即應して本年一月意圖を増加した、郵便年金決定、公債の振興に寄與し、又健康相の健康相談所を設置する外、山間地には巡回健康相談所、施行して、加入者の健康相談の多額の内、最近一ヶ年の除療、

甲種飛行生

地方から二名合格

の計は強國調間に際し左の横須賀海軍人事部で募集した、三項を懸賞募集すること、た本縣甲種練習生の合格者、日湯本町所産量保衛隊は、平市片寄藤次、小名濱町沼市長八巻善長らの審査に、佐藤孝司の兩君

申告を怠つて

恩典に漏れるな

戸數割課程申告受理

折角の、十三年度特別戸數、割課程申告書、除除申告の期間は、来る二十日、目前に迫つたので、市役所では昨日申告用紙、六千六百四十九枚を夫々各、區に配布した。

三井生命保

險巡回相談

十一日市内に開設

三井生命保は、本市で地方、巡回相談、山田村が實行二年目の迎へ、指導の傍ら毎月審査、山田村が實行二年目の迎へ、指導の傍ら毎月審査、山田村が實行二年目の迎へ、指導の傍ら毎月審査、

中陣を聴く

(122)

思ひ出して、昨年十月、睡眠は幾度も、夜は、一線、東洋平和の爲めに奮闘、

野鼠退治

市農會で

野鼠退治、高野町内省待、高野町内省待、高野町内省待、高野町内省待、

自慢の村建設

山田村新事業に二百圓

山田村新事業に二百圓、山田村が實行二年目の迎へ、指導の傍ら毎月審査、山田村が實行二年目の迎へ、指導の傍ら毎月審査、

クリークの濁水で

眞つ赤な飯が出来る

赤井村出身、鈴木光雄君、赤井村出身、鈴木光雄君、赤井村出身、鈴木光雄君、

縣下市長會議

縣下市長會議、縣下市長會議、縣下市長會議、縣下市長會議、

電話變更御通知、友部株式會社、電話番號改正、

春の大撮影會、講義會、

磐城寫友會、四倉貸家、

おみやげには、見不知羊羹、

外務員募集、電話六六八、

北川外科、電話四六四、

安齊醫院、電話四七五、

電話六六八、

電話六六八、

電話六六八、

電話六六八、

電話六六八、

電話六六八、